



浄土真宗本願寺派

徳勝寺

香川県さぬき市寒川町
石田東甲618

Tel 0879(43)2023
Fax 0879(23)2008
Email booze@daigo.or.jp

年末年始の徳勝寺の行事

じよやえ
除夜会

12月 31日 午後11時半より

しゅしようえ
修正会

1月 1日 午前10時より



www.daigo.or.jp

新たな年は良い年でありますように……
今年はいろんなことがあり過ぎました。皆様も、つらいことや悲しいことに遭遇して、「今年は大変な年であった」と振り返っておられるかもしれせん。
多くの辛いことに会おうと、どうして私ばかり……と思うこともありませぬ。それでも時は流れ、今年も終わり、新しい年がやってくるようにしています。
止むことなく働き続けてくださる、阿弥陀さまのよう……

徳勝寺

慈光 お正月特集

ハイライト:

- お正月のお仏壇のお飾り
- 道徳は いくつになるぞ
道徳 念仏申さるべし

台風被害 お見舞い

本年はたくさんの台風が日本に上陸し、各地で多くの被害を残しました。香川県は、これまで大きな被害にあうことなく過ごしてきましたが、今回ばかりは多くの被害を受けることとなりました。

台風23号では、徳勝寺にはほとんど被害はございませんでした。しかし、西にある地蔵川が決壊したため、多くの方々に被害が出ました。

さらに、寒川町だけでなく、大川町では大川ダム流域部で決壊、山端のお宅では土砂崩れによる被害が出ました。

その前の台風18号で



は、高松市や志度地区の海岸線で、高潮による浸水があり、大変な被害を蒙っておられました。

このため、多くの方々から義援金をお送りいただきました。全額、本願寺派四州教区に送らせていただきました。ありがとうございます。

台風で被害におあいになった門信徒の皆様には、誌面を借りてお見舞い申し上げます。

ありがたいお心

台風のお見舞いに伺ったお宅で「新潟の被害に比べたら大したことがない」と言われました。しかし、比べれば被害は小さいかもしれませんが、こちらも大変な状況なのです。
そのような中であっても、余所の災害に心を痛めてくださる。そのお心をこそ嬉しく感じました。
どのような状況にあつたとしても、他の人たちを思いやることのできるお心を持つことのできる私たちは、ありがたいことです。
きつと如来様やご先祖様からいただいたお心なのでしよう。ありがたいことです。



今年も除夜の鐘を撞きます。毎年、多くの方がご参拝くださいます。

除夜会のご案内

お正月を迎える準備が整って、紅白歌合戦が終わる頃、いよいよ“除夜の鐘”の時間です。

徳勝寺では、毎年、多くの方がご参詣になられ、除夜の鐘を撞いて下さいます。一年の間にご家族を亡くされたりすると、神社にはお詣りできないそうです。お寺はそのようなことを言いませんので、是非ともお詣りください。

除夜の鐘の後、本堂でお正信偈をお勤めいたします。一緒に大きな声でお勤めすると、新たな年を迎えた喜びで一杯になります。

「大きな声でお勤めすると、新たな年を迎えた喜びで一杯になります」



お花は、新松を中心に使います。松一式でも良いのですが、それに色花を足しても良いでしょう。

お仏壇のお荘厳

お正月のお仏壇には、お餅をお供えいたします。二段でも良いのですが、ご本山では、七段のお餅をお供えしていますので、お祝い事なので奇数段が良いのでしょうか。他に昆布や橙などをお供えする方もおられますが、適宜で良いでしょう。

お仏華には、新松をお飾りいたします。もちろん、色花を足していただいてもよろしいと思えます。

お蠟燭は、お祝いですので朱蠟燭を灯します。ない場合は白でも結構でしょう。

お正月のお勤め

お正月の三が日のお勤めは、お正信偈をお勤めします。

ただし、お正月はご和讃を3首引かせていただきます。いつもは6首のご和讃を詠んでいますが、偶数番目をお詠みします。

御文章は、聖人一流章をいただきます。

できれば、ご家族揃ってお仏壇にお詣りして、その後でおせち料理をいただくのが良いでしょう。

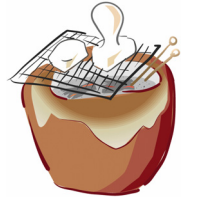
徳勝寺の元旦の修正会は、午前10時です。ご家族揃ってお参りください。

お正月を機縁に……

他力といふは、弥陀をたのむ一念のおこるとき、やがて御たすけにあづかるなり。そののち念仏申すは、御たすけありたるありがたさありがたさと思ふところをよろこびて、南無阿弥陀仏南無阿弥陀仏と申すばかりなり。されば他力とは他のちからといふところなり。この一念、臨終までとほりて往生するなりと仰せ候ふなり。

蓮如上人のお言葉

勸修寺村の道德、明応二年正月一日に御前へまゐりたるに、蓮如上人仰せられ候ふ。道德はいくつになるぞ、道德念仏申さるべし。自力の念仏といふは、念仏おほく申して仏にまゐらせ、この申したる功德にて仏のたすけたまはんとするやうにおもつてとなふるなり。



お正月の楽しみと言えば、お餅ですが、火鉢がもうありませんネ

解説

蓮如上人の多くのご門弟の一人、山科勸修寺(かんじゅじ)村の道德(とうとく)とのお話です。明応二年ですから、1493年、蓮如上人が79歳のお正月のことです。

いつものように、当時山科にあった本願寺へ、道德がお正月のご挨拶に伺ったときのお話です。

「道德よ。お前は今年でいくつになった。道德よ。お念仏を申しなさいよ」と優しく教えてくださいました。

そしてさらに、「自力の念仏は、たくさんお念仏をして、その功德で仏に助けられようと思って

称えるものだよ。

他力のお念仏は、阿弥陀さまにお任せするので、間違いなく助けられるのだから、そのお働きをありがたいなあ、と称えさせていただくのだよ。」と続けられ、阿弥陀さまのお慈悲を喜ぶお念仏をしなさいと、お正月を機縁にしてお話してくださいました。

蓮如様と仲のよかった一休さんも「正月や地獄の道の一里塚 嬉しくもあり 嬉しくもなし」と、また一歩臨終が近づいたことを、お正月を機会に教えてくださっているのです。

「道德はいくつになるぞ、道德。念仏申さるべし」



お雑煮をいただくのも、家族が勢揃いするのも、お正月だからですネ